

Vories
cure&care

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>



ヴォーリス
だより

2017年（平成29年）4月1日 第118号

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

桜の季節より

院長 周 防 正 史



桜の花が咲き誇る季節となりました。同じ営みを続けても、四季のある生活は、有形無形の恩恵を授けます。北之庄の山々の風景や、病院に訪れる鳥や動物によって季節の移ろいを肌身で感じます。当たり前のことのように思っている、都心での病院勤務では味わえないものかもしれません。

今年は例年になく雪が多く、外来駐車場の雪で、多くの職員に協力してもらいました。近隣の病院の院長先生にお聞きしますと、やはり駐車場の雪かきが大変で、診療にならなかったようです。インフルエンザが蔓延して病棟閉鎖に至る年がありましたが、今年は3月の時点で病棟内のインフルエンザの蔓延、職員の罹患もほとんどなく、無事シーズンを乗り切ることができました。感染対策は病棟や外来でのマスク、エプロン、手洗い、アルコール消毒だけでなく日々の体調管理、家族の健康管理と地道なものです。見えない敵に対抗することは、何処まですればよいのか、判断が難しいのです。今年も無事に4月を迎えることができたのは、多くの職員が誠実に対応してくれた結果と感謝しています。

藤田先生が3月末で退職されました。当院へは当初、呼吸器外科医として外来を手伝いに来ていただきました。藤田先生の博士号取得、出産を機に当時開設した回復期リハビリテーション病棟の専任として引っ張り、回復期リハビリテーション病棟立ち上げより頑張ってもらいました。最初は戸惑っておられましたが、滋賀医大整形外科教授のご指導もあり、回復期リハビリテーション病棟の中心として活躍していただいております。今回専門医を取得されるべく、離れられます。きっと大きくなって帰ってきていただけると期待しております。ともあれ、長らくご苦労さまでした。回復期リハビリテーション病棟は、皆の努力の甲斐があって、3月より回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定することができるようになりました。他の医療圏から来られる方も少なからずおられ、当院のリハビリの質が、大変高く評価されてきたように思います。

先日、近畿病院団体連合会に出席する機会があり、他府県での病院運営での報告がありました。地域医療再生計画で、国は急性期病院の削減、慢性期病院の削減、回復期病床の増床を掲げています。他府県では病院の統廃合の動きや病床変更の動きが具体化しているようです。当院は東近江医療圏で回復期、慢性期、在宅療養支援を担える数少ない病院であり、病院再編の対象ではないと考えています。しかし地域の人口減少は歯止めがかからず、高齢化のしわ寄せがどのように現れるか、誰も正確に予想はしていません。「団塊の世代」が75歳を超える2025年まであと8年です。後期高齢者が増えると医療費が増える、医療費が増えると、国の財政が破綻する。国の財政破綻の付けは国民に回るので、地域医療再生計画があるのでしょうか、さらにC型肝炎治療薬であるハーボニーや新しい抗がん剤オプジーボなど、高額医薬品の登場で、誰のための地域医療再編かわからなくなってきました。混沌混沌の時に信じるものは、地域になくてはならない自己の資質のみであることを再確認したいと思います。

敷地内全面禁煙です。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今
月
の
聖
句

「いと高い神に満願の献げ物をせよ。」

旧約聖書 詩編 50篇14節



チャプレン 安 部 勉

4月は新たな年度の始まり。皆さんの中にも環境が変わった方もおられるかもしれません。当院も聖書の言葉を基本にして神さまの御用のための働きをしたい、そう願いつつ毎年、年間テーマの聖書、そして毎月の聖書を定めています。

今年度の年間テーマは「**見よ、神はわたしを助けてくださる。**」(旧約聖書 詩編 54篇6節)としました。

イエス様の生まれる遙か前、ユダヤの人々が神との関係を「詩」として記したのが「詩編」です。「詩」でもあり「歌」でもあります。

詩にしても歌にしても作者の思いは理屈ではなく気持ちを言葉に、そしてリズムに合わせて表現する作品です。詩編とは長い時間をかけてまとめられた「歌集」と言ってもいいでしょう。もちろん、神様との関係を歌ったものです。でも、その中には神様への感謝ばかりではなく、嘆き、怒り、落胆、失望、または憎しみさえ歌われています。共感する歌ばかりではなく「ここまでの憎しみや怒りを抱いていいのだろうか」と思うほど、人としての感情が込められています。

ユダヤの人々は「神様がわたしたちの民族と契約してくださった」との信仰を大切にしています。でも契約とは単にユダヤの人々に利益をもたらすだけではありませんでした。試練や悲しみ、時に自然災害や外敵によって危機に陥ることも幾度もありまし

た。そして現代に於いても試練を味わいました。一方、他の民族に対しての強硬姿勢に世界は関心も持ち続けています。

ユダヤの人々は「神によって選ばれた」ことを大切に考えています。たとえ喜びばかりだけでなく苦しみや悲しみにあっても「神などいない」と不幸を嘆くのではなく「神さま、なぜですか」と問い続け、時に怒りや憎しみを敵に向けてほしいとまで願います。逆境にあった時、自らの手で敵を滅ぼすことも叶わず、弱さの中に神さまにその思いを訴えることもあるのです。

悲しみや苦しみに会った時、神さまなんかいいるのだろうか、と自然に思うかもしれません。しかし、ユダヤの人々はその意味を問い、答えのない中に嘆き、それでも神さまとのつながりにあることを感謝するのです。

「いと高い神に満願の献げ物をせよ」

時に献げ物を強いられることに負担や苦しみを覚えた人々もいたことでしょう。しかし、それは形骸化した信仰のあり方。イエス様が厳しく指摘し、自らが十字架への道を歩む背景でもありました。

しかし、神さまが「共にいてくださる」ことへの信頼、感謝、そして希望は朽ちさるものでも、見失われるものでもありません。すべてを受け止めてくださるとの絶対的な信頼を詩人たちの声を通して自らの思いと重ねてみませんか。

在宅サービス部門だより

訪問看護ステーションヴォーリス 北 川 実 有

年明けは例年以上の大雪で厳しい寒さが続きましたが、最近では暖かな日も増え、少しずつ春の陽気を感じられるようになってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

日々訪問へあちこち車で回っていると、雪を被った八幡山や春には桜が見えたり、秋には運動会の練習の声が聞こえたりと沢山季節を感じる事が出来ます。訪問の際、ご利用者様・ご家族様とそうした話をしたり、写真を見て頂いたりしながら、在宅で過ごされる中にも少し季節を感じて頂ければ嬉しいなと思っています。

春といえば、晩冬から春にかけては、風疹・はしか・おたふく風邪などの感染症を罹患する人が増える傾向があるようです。この傾向についての原因は明らかになっていませんが、国立国際医療研究センター病院総合診療科の國松淳和氏によると、日本で

は新入社員や新入生など多くの方が新しい環境に入るのが春であり、人の多く動く春は、ウイルスの抗体を持たず、抵抗力の弱い人が新しい環境で感染症にかかる可能性をはらむ季節であるとのこと。多くの方が子どもの頃に罹患したり、予防接種を受けておられるかと思いますが、大人が罹患すると重症化することもありますので、「子どもの感染症」と軽視せず、十分にご注意下さい。

そして、今年5月1日からは、看護小規模多機能型居宅介護「友愛の家 ヴォーリス」が開設となり、私たち訪問看護ステーションヴォーリスもスタッフが少し入れ替わり、新体制でのスタートとなります。これからは友愛の家とも連携を取りながら、ご利用者様・ご家族様が在宅でより良く過ごして頂けるよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ヘルシークッキング 4月

生姜焼き

エネルギー 190kcal タンパク質 16.6g 脂質 10.5g (1人分)

(材料 4人分)

- ・豚肉 240g
- ・玉葱 160g
- ・サラダ油 適量

<A>

- ・醤油 大さじ 4杯
- ・酒 大さじ 1杯
- ・みりん 大さじ 1杯
- ・砂糖 小さじ
- ・生姜 適量

(作り方)

- ① <A>を混ぜ合わせ調味液を作ります。
- ② フライパンで豚肉と玉葱を炒め、①を入れよく絡めて炒めます。



食卓でおなじみの野菜とも言える「玉葱」。現代では一年中流通しており日本での生産量はアメリカに次いで世界二位。また、国内での収穫量も大根、キャベツに次いで第三位と食卓に欠かせない野菜の一つです。

そんな玉葱ですが、「玉葱に栄養ってあるの?」と思われる方もおられるのではないのでしょうか?そんな事はありません。玉葱は古くから漢方の材料としても使われており血液をサラサラにし、動脈硬化の予防や疲労回復にも期待できる野菜です。今回はそんな玉葱の栄養についてご紹介させていただきます。

<アリシン>

アリシンはんにくの香りの成分でもあります。アリシンにはビタミンB1の吸収を高め、疲労回復や集中力、体力の向上に有効な成分です。ビタミンB1の多い豚肉と一緒に食べると高い疲労回復効果が期待できます。

<硫化アリル>

硫化アリルは玉葱の辛味の成分です。硫化アリルには血液をサラサラにし、動脈硬化の原因となるコ

レステロールの代謝を促進し、脳梗塞や心筋梗塞などの原因になる血栓をできにくくする作用があります。他にも血糖値を正常に保つ作用もあるため糖尿病や高脂血症などの生活習慣病の予防にも効果的です。

<ケルセチン>

ケルセチンは玉葱の皮に多く含まれる色素成分です。ケルセチンには強い抗酸化作用があり、血液中のコレステロールの酸化を防ぎ血液をサラサラにします。また、腸内の脂肪と結びついて脂肪を固めて排泄する働きもあり、古くから漢方では血圧の高い人に玉葱の皮に水を加え煎じたものを空腹時に飲むことを薦めてきたそうです。

このように玉葱は血液をサラサラにする作用を持つ成分を多く含み、近年では生活習慣病予防で注目されている野菜の一つです。特に新玉葱はみずみずしく甘味も強いので、サラダやマリネなどとの相性も良い旬の味覚です。こんな玉葱を食べて春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか?

健康について

3病棟 小 國 史 人

40歳を過ぎて健康について考えるようになりました。特に最近気になってきたことは、健康診断で血糖値が上昇してきたことです。若い頃は気にせず甘いものが好きなのでたくさん食べていましたが、最近では寝る前に食べることを控え、量を減らすようになりました。運動も大事なので、休みの日は家でつい寝がちですが、意識して歩くこと、家事など積極的に行いカロリーを消費するなど、ジムに行けなくても体を動かせるよう心掛けています。また気分転換にドライブをし、行く

先々で散歩がてら紅葉など見て景色を楽しんでいます。睡眠に関しては夜なるべく早く寝て、翌日に疲れを残さないようにしています。夜勤もあるので睡眠のサイクルは変わってしまっていますが、昼間はかえって体がだるくなってしまうので、あまり寝過ぎないように心掛けています。心身ともに健康でないと仕事も遊びも楽しくないので、自己管理はこれからも気をつけていこうと思います。



つら

ヴォーリス記念病院 創立100周年に向けて

第1回

チャプレン 安部 勉

当院は今から99年前の5月、「近江療養院」という結核療養所として開設しました。来年で100周年を迎えます。近江八幡の地で100年という月日、地域の皆さんに基督教の理念に基づき医療や介護、福祉の働きを担って来ました。来年の100周年に向けてこのコーナーでは病院に関連するトピックをご紹介します。

第1回 「五葉館」(1918年完成 木造平屋建 82.58㎡)

病院の正面玄関を入り、山の方に向かって進めるとホスピス、そしてその前に旧本館である「ツッカーハウス」があります。結核療養所としてスタートした当院の開設の時の建物。そして山に向かって建つのがかわいい礼拝堂。その奥が「ケアハウス信愛館」です。今回紹介するのはケアハウス裏手にある「五葉館」。

建物を真上から見ると手のひらのように病棟が五つ放射線状にあるところから名付けられました。中には娯楽室もありました。暖房は蒸気を使い、暑い季節には天井から熱を排出するようになっています。

高床で風通しをよく、そして3面から光が入るような窓。そしてどの病棟へも看護師さんたちがすぐに行けるような設計。ヴォーリスさんたちが考えたのは薬で治療するだけでなく、よりよい環境の中で療養することが大切だ、ということ。

薬の発明によって結核は不治の病いではなくなりましたが、薬に頼るだけではない「療養」の考え方がこの建物によっても表されています。「病気をみるのではなく、人を診る」ことの大切さを教えられます。現在、市民グループの皆さんを中心に保存のために尽力してくだっています。奥深まったところですが、機会あれば是非ご覧ください。



報告1

里教育委員会主催研修会に参加して

リハビリテーション科 安居 伸 悟

地域包括ケアが求められているという昨今の社会の現状を、長年介護保険分野領域に携わられ、市の立場・現場の立場両側面を把握されている立場からのご講義は、大変興味深いものがありました。特に近江八幡市の現状を具体的なデータをもとに簡潔に提示してくださったことで、問題点がより身近で明確になったように感じました。先生がおっしゃられていたように、意図しなくても様々なつながりや縁があります。そのつながりが発生する際に、今この社会や地域に置かれている問題点を共有し、それを広げ、主体的に行動していくことで、2025年

問題や、今後起こりうる社会的問題にも対処していける可能性が高まるのではないかと感じました。そのために病院勤務の立場からしていけることは、まず刻々と変わる地域の現状や資源をリアルタイムに把握すること・その情報を当院スタッフだけではなく、他施設の方々や住民の方々にその情報を発信していくこと、リハビリの立場からすると当院スタッフだけでなく、ケアマネや市職員の方々とも連携し、百いき体操や総合事業など患者様にあった退院先の地域資源を提示していくことではないかと感じました。

報告2

第2回ガンセミナー

栄養科 菊田 裕子

2月28日に2回目となるがんセミナーが開催され、薬局薬剤師の大石先生にご講義いただきました。先生は地域に密着した薬局の薬剤師としての仕事内容や地域の医療体制を中心にお話してくださいました。皆様にはかかりつけ薬剤師はおられますか？先生が勤務される薬局の地域の方々は、病院にかかりつけ医がいる様に、大石先生をかかりつけ薬剤師とされています。これは2016年4月の診療報酬改定により薬局での「かかりつけ薬剤師制度」が始まったため誰でも受けられる制度となっています。かかりつけ薬剤師をもつ事で、服用されているお薬の整理や、24時間体制で体調の変化や服薬状況をみて、必要に応じて医師への報告や相談を行ってもらえます。また家への訪問も必要な方には行ってもらえます。先生も検査結果を診て気になった方や、山陰にお住まいで薬局や病院に足を運び難い方に対して、家まで訪問されて健康状態の確認や服薬指導を行っておられるそうです。日々の業務の中で患者様がきちんと薬を服用できているかどうかを確認した上で、できていなければなぜできていないのか、どうしたら服用できるのかを考え個々に対応されている様です。ある日、独居でご高齢の患者様から目が

見え難いから目薬がほしいと電話があったそうです。訪問してみると額に傷があり目の上まで腫上がっていたとのこと。目に問題があって視野が悪くなっていた訳ではなかったのです。直ぐにかかりつけ医に連絡し指示を仰ぎ対応した結果、大事には至らなかったとの事です。これは普段から電話で相談、必要に応じて駆けつけてもらえ、かかりつけ医ともスムーズに連携できるという関係性が確立できていたからこそ、患者様を救えた事例のひとつだと思います。在宅医療が推進されている今、患者様やそのご家族が安心して生活していくためには、私たち医療・福祉関係者が地域の方々にどのように寄り添い関わっていくかが重要になってくるかと思えます。安心して在宅に帰れる環境づくりを福祉・医療・地域全体で考え、実現していく事が必要であると改めて思いました。最後に大石先生は「私が地域の方に寄り添っていただいているから、それを私は薬剤師として返していきたい。自分が将来安心してこの地域で暮らしたいと思っているから、今安心できる地域環境でありたい。」とおっしゃっていました。先生のお人柄と地域愛から出た言葉であると感じるとともに深みがあり、憧れるものがありました。

報告3 第247回 ミュージックタイム

さる2017年2月25日、「第247回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は松島さんと松永さんのお二人によるクラリネットとピアノの演奏でした。キリスト教に出会われ、辛さの中にあつた時も神さまの導きがあつた喜びも証してくだり、こころ温まる一時となりました。

メディカルフィットネスセンターヴォーリス
会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体力づくり 病後の方は体力回復
沢山の方がご利用されています。

営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～	デイ	市委託	○	デイ	市委託	---	---
12:00							
13:30～	○	○	デイ	○	○	---	---
17:00							
17:30～		○			○	---	---
20:00							

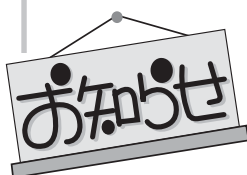
利用料金
入会金 3,750円
月会費
週3回以上 8,208円
週2回 5,400円
週1回 3,024円

*デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日

土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541

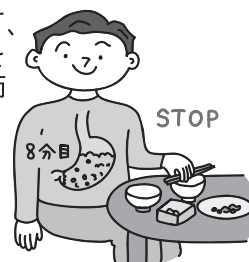


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 4月27日(木) 12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)
講 師 理学療法士

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成29年度)

開催日程表

回	日 程	内 容	担当・講師
1	5月25日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしの 食生活を考える」	ヴォーリス記念病院 管理栄養士 徳岡 貴美 氏
2	7月27日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART XⅢ」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
3	9月28日(木) 14:00~16:00	「訪問診療の実際」	ヴォーリス記念病院 医師 ミツ浪 健一 氏 (公益財団法人 理事長)
4	11月16日(木) 14:00~16:00	「あたまの体操」	ヴォーリス老健センター 作業療法士 野澤 幸江 氏
5	2月22日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしでも 最期まで我が家で」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏

①対象者 おおむね65歳以上の方 定員: 30名

②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)

③参加費 無料

④申し込み 1回目5月23日(火)までに往復ハガキで

①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒・田井中治美
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)
FAX (0748)36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にございます。



お知らせ

ヴォーリス医療・保健・福祉の里

第43期 ボランティア募集

《募集要項》

- 募集期間 2017年 4月1日 ~ 4月30日
- 申込方法 申込書(病院設置・ホームページより)をボランティア委員会宛てにお送りください。
ファックスでも受け付けています。(Fax 0748-32-2152)
メール添付も受け付けます。→ info@vories.or.jp
- 送付先 〒523-8523 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院 ボランティア募集係(担当:北岸)
- 資格 特に定めていません。
但し、オリエンテーション(6月上旬頃 予定)に必ず出席できる方に限ります。
活動に毎月定期的に2回以上来て下さることを希望しています。
オリエンテーションと講座を受講して頂いた後にボランティア登録して頂きます。
- 問合せ先 ご不明の点は下記までお問合せください。(日、祝を除く)
ヴォーリス記念病院 ボランティア募集係 Tel 0748-32-5211
ヴォーリス老健センター ボランティア募集係 Tel 0748-32-2007
午後1時~5時までにお願いします。
(午前中は対応できない場合がございます。)
- その他
長時間活動者には感謝状を贈呈。
年1回、特定検診を受けていただけます。(検診の費用は当方で負担いたします。)
インフルエンザ予防接種(費用は当方で負担)
(但し、ボランティア登録後6ヶ月以上で、活動されている方が対象となります。)
ボランティアの親睦会、交流会、勉強会などの行事もあります。
- 現在の活動は以下の通りです。
(1) 外来での案内、車椅子介助など(外来診察日 午前9時30分~12時)
(2) ミシン作業(製作、補修) (月2回 午後1時~3時)→現在お休み中です。
(3) ティーサービス(病院 水・土曜日 午後1時30分~3時30分)
(4) お話し相手 (第2・第4金曜日) 午前10時~12時
(5) 園芸(花壇やプランターの整備 季節の花植え 草刈) (月2回)
(6) ホスピス病棟活動(月・水・金 午後1時半~4時 3月末現在)
*ただし、別講座および面接を受けていただきます。
(7) 病院 療養病棟活動(身だしなみ整え、車椅子散歩、レクリエーション参加等)
(祝日を除く月~土曜日 月に月・木の入浴日 入浴日は変更の場合があります)
(8) 老健 通所リハビリ(デイケア) 介助、お話し相手(水曜午前9時30分~12時)
(9) 老健 療養棟介助、作業活動、誕生会、レクリエーション参加、お話し相手
(毎日 午前9時30分~11時30分 午後1時30分~4時)
上記の他、活動に必要な講習や講座は各部署で行う場合があります。

健康生活について「出前講座」のご案内 ~ ヴォーリス記念病院 ~

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に出向いて『出前講座』を開催しています。
皆さまが知りたい、聞きたいと思われる内容について、当院職員が講師として伺います。ぜひご利用下さい。

- ◆対象: 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
※企業、医療機関及び介護保険施設等の職場研修は実施しておりません。
- ◆費用: 無料です。
- ◆開催日時: 日、祝日を除く、9時から17時まで。
- ◆申し込み方法: 電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。
開催が決定したら、正式に申込書をご提出頂きます。
業務の都合によりご希望の日時、講座に添えない場合もあります。予めご了承下さい。



お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-32-5211(代表)
FAX: 0748-32-2152
◎ホームページでもご覧になれます。 http://www.vories.or.jp/
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室まで